

**エビス紙料株式会社の『SDGs 宣言』策定を支援しました！****～お客さまのSDGsに関する取組みをトータルサポート～**

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）が実施する「百十四SDGs取組支援サービス」を通じて、観音寺支店取引先 エビス紙料株式会社（観音寺市大野原町 代表取締役 海田 周治）が『SDGs宣言』を策定されましたのでお知らせします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

会社名	エビス紙料株式会社
所在地	香川県観音寺市大野原町丸井 817 番地 22
代表者	海田 周治
業種	廃棄物処理業

※エビス紙料株式会社の「SDGs 宣言」および「百十四 SDGs 取組支援サービス」の概要については、別紙をご参照ください。

以上

エビス紙料株式会社

SDGs宣言

当社は、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2021年10月26日
エビス紙料株式会社
代表取締役 海田 周治

SDGsの達成に向けた取り組み

廃棄物の再生、再資源化

「限りある地球資源の再活用」という基本理念のもと、古紙は製紙原料として、プラスチックや不織布は再生ペレットや猫砂の原料、ウエスとして再生しています。また、再生に不向きなプラスチック類や紙くず等は固形燃料RPFに加工し、石炭等の代替燃料として二酸化炭素の削減に役立っています。今後も温室効果ガスの削減、循環型社会の構築に貢献します。



環境への取り組み

環境省が策定した環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の認定を2018年7月に取得し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量について把握し、削減に取り組んでおります。今後も、事業活動全般を通じて、環境への負荷軽減に努めていきます。



地域貢献

経済産業省の「地域未来牽引企業」に選出、三豊市の「みとよSDGs推進パートナー」への登録など、地域社会と連携した取り組みを積極的に行っております。また、燃やせるごみを発酵・乾燥させて固形燃料の原料としてリサイクルする日本初の工場「バイオマス資源化センターみとよ」を通じ、各自治体等との連携を強化していきます。



働きやすい職場づくり

ストレスチェックの実施や、管理職へのハラスメント研修の実施、労働安全に関する定期的な周知を通じて、誰もが健康で安全に働ける職場づくりに努めております。また、業務に必要な資格取得費用の補助や資格手当の支給など、人材育成にも力を入れ、働き甲斐のある職場環境の構築にも努めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき目標。持続可能な社会を実現するための17の目標、169のターゲットで構成されています。

【別紙】

「百十四 SDGs 取組支援サービス」について

○サービス概要

取扱店	全店
対象	当行と取引のある法人のお客さま
サービス内容	①SDGs への取組状況を評価し、結果をフィードバック ・「SDGs 取組状況チェックシート※」でお客さまの SDGs への取組状況をチェックし、結果をフィードバック。 ②対外 PR 支援 ・必要に応じてお客さま独自の“SDGs 宣言”の策定をサポート。 ・希望に応じて、当行より本サービス利用にかかるニュースリリースを実施。
利用手数料	110,000 円（消費税込）

※チェックシートの作成については、地元企業の SDGs への取組支援に賛同いただいた三井住友海上火災保険株式会社および MS&AD インターリスク総研株式会社に協力をいただいております。